



北療だより

令和4年9月号
第51号
(発行)
広報誌編集会議

東京都立北療育医療センター

本 院 東京都北区十条台 1-2-3 TEL:03-3908-3001 FAX:03-3908-2984
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/>
城南分園 東京都大田区東雪谷 4-5-10 TEL:03-3727-0521 FAX:03-3726-7816
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/jounan/>
城北分園 東京都足立区南花畑 5-10-1 TEL:03-3883-5131 FAX:03-3885-9675
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/johoku/>

北療だよりは以下のホームページでも御覧いただけます。ぜひ御覧ください。

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kitaryou/kitaryou/kitaryodayori_new/index.html

本院指導科 花火大会



8月24日(水曜日)、当センター中庭におきまして恒例の花火大会を開催しました。

御存知の方もいらっしゃると思いますが、日本で初めて打ち上げ花火が催されたのは、江戸時代の享保18年、隅田川で催された水神祭と言われています。祭では、当時流行した飢饉や疫病による犠牲者の鎮魂と悪疫退散を祈願して、両国橋上流から花火が打ち上げられました。「両国の川渡し」の所以だそうです。

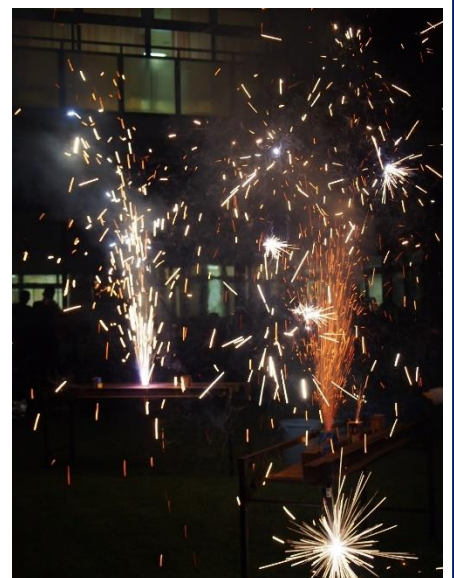
それから300年近い時が経ちました。現在も私たちの生活は、新型コロナウイルス感染症という悪疫に脅かされています。

今年の隅田川花火大会は、残念ながら中止となってしまいました。しかし、本家に成り代わり、当センターでは、悪疫退散の思いを込めて、今年も花火大会を開催しました。

さて、大会当日は曇り。日中のにわか雨で濡れた犬走りも夕方には乾き、時折心地よい風が吹いて、花火には恰好の天気となりました。

始めの手持ち花火は、ススキ、線香、スパークラーの3種類。B1病棟、B3病棟、通園科のそれぞれのエリアから、パチパチと音があがると、宵闇の中庭は、色とりどりの光で照らされました。何よりも、手持ち花火を見つめる皆様の瞳の奥が光り輝いて、とてもきれいでした。

続く噴出花火は、火の粉を振りまきながら何本もの火柱が天高く噴き上がり壮観でした。





お仕舞いのナイヤガラは、6mに渡って結ばれた花火の帯から、清流のように火花が降り注ぎ、えも言われぬ美しさに、会場からため息が聞こえてきました。花火大会の最後には皆様から盛大な拍手をいただきました。

実施にあたり、部署間交流の回避、マスクの着用、手指消毒等、感染症予防対策を徹底しました。御参加いただいた利用者の皆様には御理解と

御協力をいただき、誠にありがとうございました。

城北分園通所 「七夕まつり」

7月6日（水曜日）に「七夕まつり」を開催しました。密対策を図りつつ、大勢の利用者様が参加する行事は2年ぶり。当日は織姫と彦星が無事にデートできますようにと願いながら、大きな笹に自分たちの願い事を書いた短冊を飾り付けました。久しぶりにひと夏の楽しい雰囲気、全員で一緒に味わうことができました。



本院通園科 夏まつり

「いらっしゃいませー！」法被に豆絞りのハチマキ姿が粋ならしいおん組の売り子さん。今年の夏まつりは、お店屋さんごっこも兼ねて屋台をイメージしました。皆で作ったフルーツ飴やチョコバナナはとってもリアル！！ついつい食べたくなってしまいます。通園銀行紙幣でどれでも1個50円のリーズナブルなお店屋さん。「ありがとうございました」と店員さんのスマイルはゼロ円だけど100点満点最高で



した。ヨーヨー釣りや金魚すくいでは、長い棒を操りお目当て品ゲット。目の前で作ってもらう綿あめは、魔法がかかったようにフワフワで大きくなっていきます。甘い香りを漂わせながら、カラフルな逸品の出来上がり。



そして、クライマックスは盆踊り。みんな大好き「アンパンマン音頭」「もったいないばあさん音頭」です。力強い太鼓のリズムに思わず体も動き出し、お祭りは最高潮！みんなの笑顔と笑い声いっぱいの、賑やかな夏まつりとなりました。

北療だよりに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

- 編集責任者 事務次長 中澤 知子
- 住所 東京都北区十条台一丁目2番3号
- 電話 03-3908-3001（代表）

北療育医療センターは、

心身に障害がある方々の、

医療と療育の総合施設です。